

2021年 情報メディア学会
シンポジウム

現在の課題と将来の展望

2021年6月26日
角田裕之

学会誌「情報メディア研究」

【現在の課題】

- 投稿論文が低調である

【将来の展望】

- 学会設立の趣旨を再認識し、会員へ投稿を呼びかける
- 毎年、情報メディア学会論文賞を選定できる基準である10件以上を目標とする

総会・研究大会・研究会・交流会・親睦会

【現在の課題】

- 参加者が固定化している
- 飲食を伴う交流会や親睦会の開催がない

【将来の展望】

- 対面とオンラインのハイブリッド形式の開催を企画する
- 多くの会員が出席・参加できる開催の方法・場所・時期・内容を検討する
- 交流会や親睦会は研究者が専門分野における人的ネットワークを形成する上で極めて重要であるので、公式のプログラムに掲載し参加を募る

委員会等活動

編集委員会、広報委員会、大会企画委員会、研究会委員会、
学会誌刊行等

【現在の課題】

- 委員や担当者が一部の会員が担っている

【将来の展望】

- 若い会員にとって、貴重な経験を積む機会である
- オンライン会議等を活用しメンバーが地域に偏らない活動を目指す

20年史の編纂

【現在の課題】

- 年史は過去に編纂していない

【将来の展望】

- 創設からの状況を熟知している会員が在籍している
- 委員会を設置して編纂を進める
- 完成した年史はHP等で広く公開する

日本学術会議協力学術研究団体の登録

【現在の課題】

- 登録の準備中である
- <要件>
- 学術研究の向上発達を目的とする学術研究活動
- 活動が研究者自身の運営
- 構成員が100人以上であり、かつ研究者の割合が半数以上
- 学術研究（論文等）を掲載する機関誌を年1回継続して発行

• 【将来の展望】

- 学術活動団体であることを公的に表明する
- 本年度に登録を目指す